

葉色が急激に低下！！ 追加穂肥で後期栄養維持！

1 「コシヒカリ」の穂肥対応

(1) 分施（基肥＋穂肥）体系

- ① 2 回目穂肥（出穂期 10 日前に窒素成分で 1.0～1.5kg/10a）を確実に施用する。
- ② 下表を参考に、3 回目穂肥を対応する。

表 コシヒカリ3回目穂肥施用の判断基準、施肥時期及び施用量

栽培体系	使用肥料	3回目穂肥施用の判断基準 (葉色は SPAD 値)	施肥時期	施肥量 (窒素成分)
慣行	化学肥料	出穂期3日前の葉色:31 以下	出穂期3日前	1kg/10a
減減	有機 50%肥料	出穂期6日前の葉色:33 以下		
	有機 100%肥料※			

※低地力地帯では、2 kg/10a をめやすに施用する。

(2) 全量基肥施肥体系

葉色が急激に低下し、出穂期の葉色が SPAD 値 32～33 を下回ると予想される場合、ただし（遅くとも出穂期 3 日前まで）に窒素成分 1～1.5 kg/10 a を追肥する。

2 「新之助」の穂肥対応（新之助研究会の方へ）

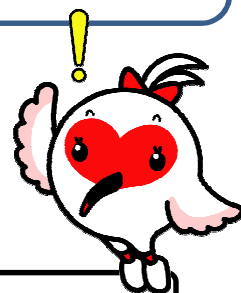
(1) 2 回目穂肥は窒素成分で 1～1.5 kg/10 a を確実に施用する。

(2) 2 回目穂肥施用後も出穂期の目標葉色値（SPAD 値：34～36）の確保が厳しい場合は、対応を研究会へ相談してください。

参考データ（葉色値）

品種		7/10	7/19	7/25
コシヒカリ	本年値	36.8	32.9	31.4
	(調査点数 9) 目標差	+ 1.2	- 0.5	- 1.8
新之助	本年値	35.3	31.2	30.3
	(調査点数 3) 目標差	- 0.7	- 2.8	- 3.7

出穂期 25 日後までは飽水管理を継続し、強風・フェーン時はあらかじめ湛水しましょう！



高温下での新潟米品質確保に向けた電話相談窓口設置 電話番号 0250-24-9624
 8月10日まで（土・日含む）午前8時30分から午後5時15分まで